授業科目名	レクリエーション概論	単位数	2
担当教員名	重藤　誠市郎	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。

授業の到達目標及びテーマ

（１）レジャー・レクリエーションに関する基本的内容について理解する。

（２）様々なレジャーやレクリエーションの活動について理解を深める。

（３）実際にレクリエーションを体感し、その実施方法を習得することができる。

授業の概要

　レクリエーションは、カタカナ英語として広く浸透しているが、多様な広がりを持ち、単に遊びや気晴らしを指す言葉ではない。原義としては「壊れたものを創り直す」ことであり、一時的に疲労から回復することを意味するようになった。そして、回復のための遊びや活動自体をレクリエーションと呼ぶようになった。今日の日本は、毎年約３万人もの自殺者を出すストレスフルな社会であり、我々にはレクリエーションは非常に重要で、欠かすことができない活動の一つといえよう。そこで本授業では、レクリエーションの基本的な内容や種類、方法を学び、自らが活用できるように講義を展開していく。

授業計画

第１回：古代から現代までのレジャー時間の捉え方

第２回：レジャー活動とその広がり、レジャー経験の心理的効果とは

第３回：レクリエーションの発展の歴史

第４回：休日・休暇の活かし方、労働時間と余暇時間

第５回：健康社会へ向けての取り組み

第６回：ホイジンガやカイヨワによる遊びの定義、趣味のよろこび

第７回：レジャー・レクリエーション活動（１）旅行・登山・キャンプ

第８回：レジャー・レクリエーション活動（２）ギャンブル・ボランティア活動

第９回：レジャー施設の現状と役割（１）テーマパーク・野外教育

第１０回：レジャー施設の現状と役割（２）自然保護への取り組み・国立公園

第１１回：福祉レクリエーション（１）高齢者のレクリエーション

第１２回：福祉レクリエーション（２）障害者のレクリエーション

第１３回：教育現場におけるレクリエーション

第１４回：レクリエーションの展開：コミュニケーション・ワーク

第１５回：目的・対象に合わせたレクリエーション・ワーク

定期試験

スクーリングでの学修内容 第１回から第１５回全ての内容を横断的に含む。 （主に、第１３回から第１５回の内容を含む。） アクティブラーニングの手法を用いた授業展開を実施する。
教科書 澤村　博・近藤　克之『これからのレジャー・レクリエーションー余暇社会に向けてー改訂３版』ポラーノ出版　２０１６年
参考文献 必要に応じて紹介する。
学生に対する評価 スクーリング評価（２５％)、レポート評価（２５％)、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。